

ビジネス実務法務検定試験2級 - 企業財産の管理・活用

問題PDF - 左：問題 / 右：答え・超簡単な解説

Q001 BL2-005

企業財産の管理・活用 / 職務発明 / 形式：○×

次の記述は正しいか。
職務発明では、従業者等が職務上した発明の帰属・相当利益が問題となる。

1. 正しい
2. 誤り

答え・解説

正答：正しい
超簡単な解説：特許法上の職務発明制度を理解する。
要点：職務発明

Q002 BL2-006

企業財産の管理・活用 / 営業秘密管理 / 形式：○×

次の記述は正しいか。
営業秘密は、社外に公開していても常に営業秘密として保護される。

1. 正しい
2. 誤り

答え・解説

正答：誤り
超簡単な解説：秘密管理性・有用性・非公知性を満たす必要がある。
要点：営業秘密管理

Q003 BL2-021

企業財産の管理・活用 / 共同出願 / 形式：○×

次の記述は正しいか。
共同発明では、共同出願や共有特許権の扱いを契約で明確にする必要がある。

1. 正しい
2. 誤り

答え・解説

正答：正しい
超簡単な解説：持分・実施・譲渡制限が問題となる。
要点：共同出願

Q004 BL2-022

企業財産の管理・活用 / ノウハウ契約 / 形式：○×

次の記述は正しいか。
ノウハウ契約では、秘密保持条項を置くことが法律上禁止されている。

1. 正しい
2. 誤り

答え・解説

正答：誤り
超簡単な解説：技術情報の漏えい防止が重要である。
要点：ノウハウ契約

Q005 BL2-037

企業財産の管理・活用 / 商標の類否 / 形式：○×

次の記述は正しいか。
商標の類否は、外観・称呼・觀念などを総合的に判断する。

1. 正しい
2. 誤り

答え・解説

正答：正しい
超簡単な解説：取引実情も考慮される。
要点：商標の類否

ビジネス実務法務検定試験2級 - 企業財産の管理・活用

問題PDF - 左：問題 / 右：答え・超簡単な解説

Q006 BL2-038

企業財産の管理・活用 / ドメイン名紛争 / 形式：○×

次の記述は正しいか。
ドメイン名は、商標権や不正競争防止法と一切関係しない。

1. 正しい
2. 誤り

答え・解説

正答：誤り

超簡単な解説：不正取得や混同惹起が問題となる。

要点：ドメイン名紛争

Q007 BL2-053

企業財産の管理・活用 / 著作権の譲渡 / 形式：○×

次の記述は正しいか。
著作権の譲渡では、譲渡対象となる権利を明確に定める必要がある。

1. 正しい
2. 誤り

答え・解説

正答：正しい

超簡単な解説：翻案権等の特掲が問題となる。

要点：著作権の譲渡

Q008 BL2-054

企業財産の管理・活用 / 肖像権・パブリシティ権 / 形式：○×

次の記述は正しいか。
人物写真は、本人の許諾なく広告に自由に使える。

1. 正しい
2. 誤り

答え・解説

正答：誤り

超簡単な解説：広告利用では同意範囲を明確にする。

要点：肖像権・パブリシティ権

Q009 BL2-069

企業財産の管理・活用 / 二次的著作物 / 形式：○×

次の記述は正しいか。
二次的著作物を利用するには、原著作物の権利処理も問題となる。

1. 正しい
2. 誤り

答え・解説

正答：正しい

超簡単な解説：翻訳・編曲・映画化などが該当する。

要点：二次的著作物

Q010 BL2-085

企業財産の管理・活用 / ソフトウェア使用許諾 / 形式：○×

次の記述は正しいか。
ソフトウェア使用許諾では、利用範囲・複製可否・禁止行為を明確にする。

1. 正しい
2. 誤り

答え・解説

正答：正しい

超簡単な解説：ライセンス違反は損害賠償や差止めにつながる。

要点：ソフトウェア使用許諾

ビジネス実務法務検定試験2級 - 企業財産の管理・活用

問題PDF - 左：問題 / 右：答え・超簡単な解説

Q011 BL2-101

企業財産の管理・活用 / オープンソースライセンス / 形式：○×

次の記述は正しいか。
オープンソース利用では、ライセンス条件の遵守が必要である。

1. 正しい
2. 誤り

答え・解説

正答：正しい
超簡単な解説：表示義務・ソース公開義務などに注意する。
要点：オープンソースライセンス

Q012 BL2-116

企業財産の管理・活用 / 職務発明 / 形式：○×

次の記述は正しいか。
職務発明では、従業員の発明は常に本人の私物として会社は一切関与できない。

1. 正しい
2. 誤り

答え・解説

正答：誤り
超簡単な解説：特許法上の職務発明制度を理解する。
要点：職務発明

Q013 BL2-117

企業財産の管理・活用 / 営業秘密管理 / 形式：○×

次の記述は正しいか。
営業秘密は、秘密として管理されていることが保護要件となる。

1. 正しい
2. 誤り

答え・解説

正答：正しい
超簡単な解説：秘密管理性・有用性・非公知性を満たす必要がある。
要点：営業秘密管理

Q014 BL2-132

企業財産の管理・活用 / 共同出願 / 形式：○×

次の記述は正しいか。
共同発明では、出願人を決める必要が一切ない。

1. 正しい
2. 誤り

答え・解説

正答：誤り
超簡単な解説：持分・実施・譲渡制限が問題となる。
要点：共同出願

Q015 BL2-133

企業財産の管理・活用 / ノウハウ契約 / 形式：○×

次の記述は正しいか。
ノウハウ契約では、秘密保持・利用範囲・改良成果の帰属を定める。

1. 正しい
2. 誤り

答え・解説

正答：正しい
超簡単な解説：技術情報の漏えい防止が重要である。
要点：ノウハウ契約

ビジネス実務法務検定試験2級 - 企業財産の管理・活用

問題PDF - 左：問題 / 右：答え・超簡単な解説

Q016 BL2-148

企業財産の管理・活用 / 商標の類否 / 形式：○×

次の記述は正しいか。
商標の類否は、文字数だけで機械的に決まる。

1. 正しい
2. 誤り

答え・解説

正答：誤り

超簡単な解説：取引実情も考慮される。

要点：商標の類否

Q017 BL2-149

企業財産の管理・活用 / ドメイン名紛争 / 形式：○×

次の記述は正しいか。
ドメイン名が他人の商標等と衝突する場合、紛争が生じ得る。

1. 正しい
2. 誤り

答え・解説

正答：正しい

超簡単な解説：不正取得や混同惹起が問題となる。

要点：ドメイン名紛争

Q018 BL2-164

企業財産の管理・活用 / 著作権の譲渡 / 形式：○×

次の記述は正しいか。
著作権は、契約によって一切譲渡できない。

1. 正しい
2. 誤り

答え・解説

正答：誤り

超簡単な解説：翻案権等の特掲が問題となる。

要点：著作権の譲渡

Q019 BL2-165

企業財産の管理・活用 / 肖像権・パブリシティ権 / 形式：○×

次の記述は正しいか。
人物写真や著名人の顧客吸引力利用では、肖像権・パブリシティ権が問題となる。

1. 正しい
2. 誤り

答え・解説

正答：正しい

超簡単な解説：広告利用では同意範囲を明確にする。

要点：肖像権・パブリシティ権

Q020 BL2-175

企業財産の管理・活用 / 著作権の譲渡 / 形式：2択

次のうち、「著作権の譲渡」について正しい説明はどちらか。

1. 著作権の譲渡では、譲渡対象となる権利を明確に定める必要がある。
2. 裁判管轄条項は、契約書に記載しても一切効力を持たない。

答え・解説

正答：著作権の譲渡では、譲渡対象となる権利を明確に定める必要がある。

超簡単な解説：翻案権等の特掲が問題となる。

要点：著作権の譲渡

ビジネス実務法務検定試験2級 - 企業財産の管理・活用

問題PDF - 左：問題 / 右：答え・超簡単な解説

Q021 BL2-176

企業財産の管理・活用 / 肖像権・パブリシティ権 / 形式：2択

次のうち、「肖像権・パブリシティ権」について正しい説明はどちらか。

1. 外国判決は、日本で常に自動的かつ無条件に強制執行できる。
2. 人物写真や著名人の顧客吸引力利用では、肖像権・パブリシティ権が問題となる。

答え・解説

正答：人物写真や著名人の顧客吸引力利用では、肖像権・パブリシティ権が問題となる。

超簡単な解説：広告利用では同意範囲を明確にする。

要点：肖像権・パブリシティ権

Q022 BL2-191

企業財産の管理・活用 / 二次的著作物 / 形式：2択

次のうち、「二次的著作物」について正しい説明はどちらか。

1. 二次的著作物を利用するには、原著物の権利処理も問題となる。
2. 目的条項は、契約解釈において常に完全に無意味である。

答え・解説

正答：二次的著作物を利用するには、原著物の権利処理も問題となる。

超簡単な解説：翻訳・編曲・映画化などが該当する。

要点：二次的著作物

Q023 BL2-207

企業財産の管理・活用 / ソフトウェア使用許諾 / 形式：2択

次のうち、「ソフトウェア使用許諾」について正しい説明はどちらか。

1. ソフトウェア使用許諾では、利用範囲・複製可否・禁止行為を明確にする。
2. 破産手続では、担保権者は常に担保権を失う。

答え・解説

正答：ソフトウェア使用許諾では、利用範囲・複製可否・禁止行為を明確にする。

超簡単な解説：ライセンス違反は損害賠償や差止めにつながる。

要点：ソフトウェア使用許諾

Q024 BL2-223

企業財産の管理・活用 / オープンソースライセンス / 形式：2択

次のうち、「オープンソースライセンス」について正しい説明はどちらか。

1. オープンソース利用では、ライセンス条件の遵守が必要である。
2. 危険移転条項は、物品売買では絶対に定めてはならない。

答え・解説

正答：オープンソース利用では、ライセンス条件の遵守が必要である。

超簡単な解説：表示義務・ソース公開義務などに注意する。

要点：オープンソースライセンス

Q025 BL2-238

企業財産の管理・活用 / 職務発明 / 形式：2択

次のうち、「職務発明」について正しい説明はどちらか。

1. 裁判上の和解は、裁判所外の口約束だけを意味する。
2. 職務発明では、従業者等が職務上した発明の帰属・相当利益が問題となる。

答え・解説

正答：職務発明では、従業者等が職務上した発明の帰属・相当利益が問題となる。

超簡単な解説：特許法上の職務発明制度を理解する。

要点：職務発明

ビジネス実務法務検定試験2級 - 企業財産の管理・活用

問題PDF - 左：問題 / 右：答え・超簡単な解説

Q026 BL2-239

企業財産の管理・活用 / 営業秘密管理 / 形式：2択

次のうち、「営業秘密管理」について正しい説明はどちらか。

1. 営業秘密は、秘密として管理されていることが保護要件となる。
2. 募集株式の発行では、会社法上の手続は一切不要である。

答え・解説

正答：営業秘密は、秘密として管理されていることが保護要件となる。

超簡単な解説：秘密管理性・有用性・非公知性を満たす必要がある。

要点：営業秘密管理

Q027 BL2-254

企業財産の管理・活用 / 共同出願 / 形式：2択

次のうち、「共同出願」について正しい説明はどちらか。

1. 新株予約権は、会社の不動産を借りる権利である。
2. 共同発明では、共同出願や共有特許権の扱いを契約で明確にする必要がある。

答え・解説

正答：共同発明では、共同出願や共有特許権の扱いを契約で明確にする必要がある。

超簡単な解説：持分・実施・譲渡制限が問題となる。

要点：共同出願

Q028 BL2-255

企業財産の管理・活用 / ノウハウ契約 / 形式：2択

次のうち、「ノウハウ契約」について正しい説明はどちらか。

1. ノウハウ契約では、秘密保持・利用範囲・改良成果の帰属を定める。
2. 下請代金の支払遅延は、下請法上常に許される。

答え・解説

正答：ノウハウ契約では、秘密保持・利用範囲・改良成果の帰属を定める。

超簡単な解説：技術情報の漏えい防止が重要である。

要点：ノウハウ契約

Q029 BL2-270

企業財産の管理・活用 / 商標の類否 / 形式：2択

次のうち、「商標の類否」について正しい説明はどちらか。

1. 文書提出命令は、裁判所が文書を破棄する命令である。
2. 商標の類否は、外観・称呼・観念などを総合的に判断する。

答え・解説

正答：商標の類否は、外観・称呼・観念などを総合的に判断する。

超簡単な解説：取引実情も考慮される。

要点：商標の類否

Q030 BL2-271

企業財産の管理・活用 / ドメイン名紛争 / 形式：2択

次のうち、「ドメイン名紛争」について正しい説明はどちらか。

1. ドメイン名が他人の商標等と衝突する場合、紛争が生じ得る。
2. オープンソースは、どのような条件でも完全に自由に利用できる。

答え・解説

正答：ドメイン名が他人の商標等と衝突する場合、紛争が生じ得る。

超簡単な解説：不正取得や混同惹起が問題となる。

要点：ドメイン名紛争

ビジネス実務法務検定試験2級 - 企業財産の管理・活用

問題PDF - 左：問題 / 右：答え・超簡単な解説

Q031 BL2-286

企業財産の管理・活用 / 著作権の譲渡 / 形式：2択

次のうち、「著作権の譲渡」について正しい説明はどちらか。

1. 秘密保持契約では、秘密情報の定義を置いてはならない。
2. 著作権の譲渡では、譲渡対象となる権利を明確に定める必要がある。

答え・解説

正答：著作権の譲渡では、譲渡対象となる権利を明確に定める必要がある。
超簡単な解説：翻案権等の特掲が問題となる。

要点：著作権の譲渡

Q032 BL2-287

企業財産の管理・活用 / 肖像権・パブリシティ権 / 形式：2択

次のうち、「肖像権・パブリシティ権」について正しい説明はどちらか。

1. 人物写真や著名人の顧客吸引力利用では、肖像権・パブリシティ権が問題となる。
2. 商標の類否は、文字数だけで機械的に決まる。

答え・解説

正答：人物写真や著名人の顧客吸引力利用では、肖像権・パブリシティ権が問題となる。

超簡単な解説：広告利用では同意範囲を明確にする。

要点：肖像権・パブリシティ権

Q033 BL2-302

企業財産の管理・活用 / 二次的著作物 / 形式：2択

次のうち、「二次的著作物」について正しい説明はどちらか。

1. 取締役の競業取引は、会社の承認なく常に自由である。
2. 二次的著作物を利用するには、原著作物の権利処理も問題となる。

答え・解説

正答：二次的著作物を利用するには、原著作物の権利処理も問題となる。

超簡単な解説：翻訳・編曲・映画化などが該当する。

要点：二次的著作物

Q034 BL2-318

企業財産の管理・活用 / ソフトウェア使用許諾 / 形式：2択

次のうち、「ソフトウェア使用許諾」について正しい説明はどちらか。

1. 電子契約は、紙の契約書がないため法律上必ず無効となる。
2. ソフトウェア使用許諾では、利用範囲・複製可否・禁止行為を明確にする。

答え・解説

正答：ソフトウェア使用許諾では、利用範囲・複製可否・禁止行為を明確にする。

超簡単な解説：ライセンス違反は損害賠償や差止めにつながる。

要点：ソフトウェア使用許諾

Q035 BL2-334

企業財産の管理・活用 / オープンソースライセンス / 形式：2択

次のうち、「オープンソースライセンス」について正しい説明はどちらか。

1. 裁判上の和解は、裁判所外の口約束だけを意味する。
2. オープンソース利用では、ライセンス条件の遵守が必要である。

答え・解説

正答：オープンソース利用では、ライセンス条件の遵守が必要である。

超簡単な解説：表示義務・ソース公開義務などに注意する。

要点：オープンソースライセンス

ビジネス実務法務検定試験2級 - 企業財産の管理・活用

問題PDF - 左：問題 / 右：答え・超簡単な解説

Q036 BL2-340

企業財産の管理・活用 / ソフトウェア使用許諾 / 形式：4択

次のうち、「ソフトウェア使用許諾」について正しい説明として最も適切なものはどれか。

1. ソフトウェア使用許諾では、利用範囲・複製可否・禁止行為を明確にする。
2. 電子署名は、紙文書の押印を常に法律上禁止する制度である。
3. 雇用形態が違えば、どのような待遇差も常に許される。
4. 社会保険は、企業の労務管理と一切関係しない。

答え・解説

正答：ソフトウェア使用許諾では、利用範囲・複製可否・禁止行為を明確にする。

超簡単な解説：ライセンス違反は損害賠償や差止めにつながる。

要点：ソフトウェア使用許諾

Q037 BL2-356

企業財産の管理・活用 / オープンソースライセンス / 形式：4択

次のうち、「オープンソースライセンス」について正しい説明として最も適切なものはどれか。

1. 外為法は、国内の年次有給休暇だけを定める法律である。
2. オープンソース利用では、ライセンス条件の遵守が必要である。
3. 著作権は、契約によって一切譲渡できない。
4. 人物写真は、本人の許諾なく広告に自由に使える。

答え・解説

正答：オープンソース利用では、ライセンス条件の遵守が必要である。

超簡単な解説：表示義務・ソース公開義務などに注意する。

要点：オープンソースライセンス

Q038 BL2-371

企業財産の管理・活用 / 職務発明 / 形式：4択

次のうち、「職務発明」について正しい説明として最も適切なものはどれか。

1. 育児・介護休業は、企業が任意で完全に無視できる制度である。
2. 職務発明では、従業者等が職務上した発明の帰属・相当利益が問題となる。
3. ドメイン名は、商標権や不正競争防止法と一切関係しない。
4. 労働保険とは、健康保険と厚生年金保険だけをいう。

答え・解説

正答：職務発明では、従業者等が職務上した発明の帰属・相当利益が問題となる。

超簡単な解説：特許法上の職務発明制度を理解する。

要点：職務発明

Q039 BL2-372

企業財産の管理・活用 / 営業秘密管理 / 形式：4択

次のうち、「営業秘密管理」について正しい説明として最も適切なものはどれか。

1. 保全命令は、判決確定後にだけ必ず出される命令である。
2. 公開会社とは、上場会社だけを意味する。
3. 営業秘密は、秘密として管理されていることが保護要件となる。
4. 与信管理は、売掛金回収リスクと一切関係がない。

答え・解説

正答：営業秘密は、秘密として管理されていることが保護要件となる。

超簡単な解説：秘密管理性・有用性・非公知性を満たす必要がある。

要点：営業秘密管理

Q040 BL2-387

企業財産の管理・活用 / 共同出願 / 形式：4択

次のうち、「共同出願」について正しい説明として最も適切なものはどれか。

1. 共同発明では、共同出願や共有特許権の扱いを契約で明確にする必要がある。
2. 個人情報の利用目的は、取得後も一切特定する必要がない。
3. 詐害行為取消権は、債権者保護とは無関係である。
4. 不可抗力条項は、当事者の故意による不履行だけを免責する条項である。

答え・解説

正答：共同発明では、共同出願や共有特許権の扱いを契約で明確にする必要がある。

超簡単な解説：持分・実施・譲渡制限が問題となる。

要点：共同出願

ビジネス実務法務検定試験2級 - 企業財産の管理・活用

問題PDF - 左：問題 / 右：答え・超簡単な解説

Q041 BL2-388

企業財産の管理・活用 / ノウハウ契約 / 形式：4択

次のうち、「ノウハウ契約」について正しい説明として最も適切なものはどれか。

1. 公開会社とは、上場会社だけを意味する。
2. ノウハウ契約では、秘密保持・利用範囲・改良成果の帰属を定める。
3. 文書提出命令は、裁判所が文書を破棄する命令である。
4. 基本契約を締結すると、個別契約の条件は一切定められない。

答え・解説

正答：ノウハウ契約では、秘密保持・利用範囲・改良成果の帰属を定める。
超簡単な解説：技術情報の漏えい防止が重要である。

要点：ノウハウ契約

Q042 BL2-403

企業財産の管理・活用 / 商標の類否 / 形式：4択

次のうち、「商標の類否」について正しい説明として最も適切なものはどれか。

1. 個人データ漏えい時には、どのような場合も外部報告は一切不要である。
2. 詐害行為取消権は、債権者保護とは無関係である。
3. 新株予約権は、会社の不動産を借りる権利である。
4. 商標の類否は、外観・称呼・觀念などを総合的に判断する。

答え・解説

正答：商標の類否は、外観・称呼・觀念などを総合的に判断する。
超簡単な解説：取引実情も考慮される。

要点：商標の類否

Q043 BL2-404

企業財産の管理・活用 / ドメイン名紛争 / 形式：4択

次のうち、「ドメイン名紛争」について正しい説明として最も適切なものはどれか。

1. 社会保険は、企業の労務管理と一切関係しない。
2. 会計監査人は、会社の営業販売だけを担当する従業員である。
3. ドメイン名が他人の商標等と衝突する場合、紛争が生じ得る。
4. 売掛金は、発生後に管理しなくても法的リスクはない。

答え・解説

正答：ドメイン名が他人の商標等と衝突する場合、紛争が生じ得る。
超簡単な解説：不正取得や混同惹起が問題となる。

要点：ドメイン名紛争

Q044 BL2-419

企業財産の管理・活用 / 著作権の譲渡 / 形式：4択

次のうち、「著作権の譲渡」について正しい説明として最も適切なものはどれか。

1. ステルスマーケティングは、表示規制上まったく問題にならない。
2. 著作権の譲渡では、譲渡対象となる権利を明確に定める必要がある。
3. 会計監査人は、会社の営業販売だけを担当する従業員である。
4. 職務発明では、従業員の発明は常に本人の私物として会社は一切関与できない。

答え・解説

正答：著作権の譲渡では、譲渡対象となる権利を明確に定める必要がある。
超簡単な解説：翻案権等の特掲が問題となる。

要点：著作権の譲渡

Q045 BL2-420

企業財産の管理・活用 / 肖像権・パブリシティ権 / 形式：4択

次のうち、「肖像権・パブリシティ権」について正しい説明として最も適切なものはどれか。

1. 先取特権は、必ず契約書で設定しなければ発生しない。
2. 個人情報の利用目的は、取得後も一切特定する必要がない。
3. 譲渡担保は、日本の実務で担保として利用されない。
4. 人物写真や著名人の顧客吸引力利用では、肖像権・パブリシティ権が問題となる。

答え・解説

正答：人物写真や著名人の顧客吸引力利用では、肖像権・パブリシティ権が問題となる。

超簡単な解説：広告利用では同意範囲を明確にする。

要点：肖像権・パブリシティ権

ビジネス実務法務検定試験2級 - 企業財産の管理・活用

問題PDF - 左：問題 / 右：答え・超簡単な解説

Q046 BL2-435

企業財産の管理・活用 / 二次的著作物 / 形式：4択

次のうち、「二次的著作物」について正しい説明として最も適切なものはどれか。

1. 保全命令は、判決確定後にだけ必ず出される命令である。
2. 二次的著作物を利用するには、原著物の権利処理も問題となる。
3. 使用者は、労働組合からの団体交渉を常に自由に拒否できる。
4. 個別契約は、基本契約がある場合には法律上必ず無効となる。

答え・解説

正答：二次的著作物を利用するには、原著物の権利処理も問題となる。
超簡単な解説：翻訳・編曲・映画化などが該当する。

要点：二次的著作物

Q047 BL2-451

企業財産の管理・活用 / ソフトウェア使用許諾 / 形式：4択

次のうち、「ソフトウェア使用許諾」について正しい説明として最も適切なものはどれか。

1. 利益相反取引は、会社法上いかなる規制も受けない。
2. 通信販売では、返品特約を表示しても一切効力がない。
3. ノウハウ契約では、秘密保持条項を置くことが法律上禁止されている。
4. ソフトウェア使用許諾では、利用範囲・複製可否・禁止行為を明確にする。

答え・解説

正答：ソフトウェア使用許諾では、利用範囲・複製可否・禁止行為を明確にする。

超簡単な解説：ライセンス違反は損害賠償や差止めにつながる。

要点：ソフトウェア使用許諾

Q048 BL2-467

企業財産の管理・活用 / オープンソースライセンス / 形式：4択

次のうち、「オープンソースライセンス」について正しい説明として最も適切なものはどれか。

1. 雇用形態が違えば、どのような待遇差も常に許される。
2. 反社会的勢力排除条項は、コンプライアンス上まったく不要である。
3. 根抵当権は、特定の一債権しか担保できない抵当権である。
4. オープンソース利用では、ライセンス条件の遵守が必要である。

答え・解説

正答：オープンソース利用では、ライセンス条件の遵守が必要である。

超簡単な解説：表示義務・ソース公開義務などに注意する。

要点：オープンソースライセンス

Q049 BL2-482

企業財産の管理・活用 / 職務発明 / 形式：4択

次のうち、「職務発明」について正しい説明として最も適切なものはどれか。

1. 労働協約は、個々の労働者と消費者との売買契約である。
2. 職務発明では、従業者等が職務上した発明の帰属・相当利益が問題となる。
3. 優越的地位の濫用は、独占禁止法上まったく問題にならない。
4. 秘密保持契約では、秘密情報の定義を置いてはならない。

答え・解説

正答：職務発明では、従業者等が職務上した発明の帰属・相当利益が問題となる。

超簡単な解説：特許法上の職務発明制度を理解する。

要点：職務発明

Q050 BL2-483

企業財産の管理・活用 / 営業秘密管理 / 形式：4択

次のうち、「営業秘密管理」について正しい説明として最も適切なものはどれか。

1. 目的条項は、契約解釈において常に完全に無意味である。
2. 通信販売では、販売条件を一切表示しなくてもよい。
3. 制裁条項は、国際取引のリスク管理と無関係である。
4. 営業秘密は、秘密として管理されていることが保護要件となる。

答え・解説

正答：営業秘密は、秘密として管理されていることが保護要件となる。

超簡単な解説：秘密管理性・有用性・非公知性を満たす必要がある。

要点：営業秘密管理

ビジネス実務法務検定試験2級 - 企業財産の管理・活用

問題PDF - 左：問題 / 右：答え・超簡単な解説

Q051 BL2-498

企業財産の管理・活用 / 共同出願 / 形式：4択

次のうち、「共同出願」について正しい説明として最も適切なものはどれか。

1. 債権者代位権は、債務者の権利を消滅させるだけの制度である。
2. 債権譲渡では、対抗要件は一切問題にならない。
3. 根抵当権は、特定の一債権しか担保できない抵当権である。
4. 共同発明では、共同出願や共有特許権の扱いを契約で明確にする必要がある。

答え・解説

正答：共同発明では、共同出願や共有特許権の扱いを契約で明確にする必要がある。

超簡単な解説：持分・実施・譲渡制限が問題となる。

要点：共同出願

Q052 BL2-499

企業財産の管理・活用 / ノウハウ契約 / 形式：4択

次のうち、「ノウハウ契約」について正しい説明として最も適切なものはどれか。

1. 制裁条項は、国際取引のリスク管理と無関係である。
2. 育児・介護休業は、企業が任意で完全に無視できる制度である。
3. 証拠は、紛争が起きてから相手方に作成してもらえば常に足りる。
4. ノウハウ契約では、秘密保持・利用範囲・改良成果の帰属を定める。

答え・解説

正答：ノウハウ契約では、秘密保持・利用範囲・改良成果の帰属を定める。

超簡単な解説：技術情報の漏えい防止が重要である。

要点：ノウハウ契約